

**科学研究費助成事業 研究成果報告書**

平成 29 年 6 月 4 日現在

機関番号：14401

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2014～2016

課題番号：26380059

研究課題名(和文) 国際組織・国家・私的アクターによるソフト・ガバナンス - バイオエネルギーを例に -

研究課題名(英文) Soft Modes of Governance Involving International Organizations, States, and Private Actors: The Case of Sustainable Bioenergy

研究代表者

内記 香子 (Naiki, Yoshiko)

大阪大学・国際公共政策研究科・准教授

研究者番号：90313064

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,600,000円

研究成果の概要(和文)： 国際社会には国際協力が不可欠なグローバルな問題が多数あるが、そのための国際条約の交渉・締結がスムーズに行われるわけではない。それを埋めるために、国際的・地域的・国家・私的(民間)アクターという複数レベルでソフトなガバナンス作りが進んでいる。本研究では、バイオエネルギーの持続可能性を事例として、ソフト・ローやソフト・ガバナンスを含む多様で多層な制度間関係における協調・対話・連携について、主として国際関係論で注目されている「レジーム・コンプレックス」「公私パートナーシップ」の分析視角を用いて実証研究を行い、ガバナンス全体としてポジティブなインパクトがあることを説明した。

研究成果の概要(英文)： Currently, the construction of international agreements among states has become increasingly complex and difficult. In order to fill this deficit of international agreements, we can observe the emergence of various soft modes of governance involving diversified actors, such as international organizations, states, and private actors.

This empirical research aims to examine the impacts of such soft modes of governance in the case of sustainable bioenergy. In the field of international relations, the theory of regime complex proposes positive and innovative effects of soft and pluralistic modes of governance via public-private partnerships. This research addressed the constructive interactions between multi-level governance arrangements (the EU, the international arrangement, and private sustainability certification systems) in the case of sustainable bioenergy.

研究分野：国際経済法

キーワード：ソフト・ガバナンス レジーム・コンプレックス プライベート・アクター 公私パートナーシップ  
バイオエネルギー

### 1. 研究開始当初の背景

国際社会には国際協力が不可欠なグローバルな問題が多数あるが、そのための国際条約の交渉・締結が常にスムーズに行われるわけではない。他方、そのギャップを埋めるために、国際的・地域的・国家・私的(民間)アクターという複数のレベルでソフトなガバナンス作りが進んでいた。そのような、ソフト・ローやソフト・ガバナンスを含む多層で多層な制度間関係における協調・対話・連携については、理論的な研究と実証的な研究が十分であるとは言えず、国際・地域・国内・私的レベルの制度間関係を分析できる視角が求められていた。

本研究で具体的に取りあげた、バイオエネルギーの持続可能性については次のような課題背景があった。近年、地球温暖化対策の必要性から、また日本でも東日本大震災によりエネルギー環境が変化したことにより、バイオエネルギーを含む再生可能エネルギーの利用の重要性が認識され始めていた。その一方で、バイオエネルギーの生産・普及は、その原料がトウモロコシ・大豆・サトウキビ等の農産物であることから、食料価格の高騰、農地をめぐる土地の争奪紛争、農地拡大のために起こる環境・森林・生物多様性の豊かな土地の破壊、さらには農地で働く労働者の権利の侵害などのリスクを伴う。したがって、こうした問題が起きないように「バイオエネルギーの持続可能性基準」の策定が進み、国際・地域・国内・私的レベルの制度が交錯した状況にあった。

### 2. 研究の目的

上記のような問題背景に対して、3つの研究目的を設定した。

(1) まず本研究では、国際レベルのソフト・ローと地域・国家レベルの制度との関係、さらには私的アクターが形成しているソフトな制度との関係をも含め、より複合的な制度構造を研究対象とするので、国際法学だけでなく、国際関係論の理論を参考にして、学際的なアプローチによる研究を目的とした。

(2) 次に、グローバル・ガバナンスにおいて、私的アクターの役割が大きい点に着目することとし、とりわけ私的アクターの中でも「認証システム」について実証研究を行うことを目的とした。

(3) 最後にそうしたガバナンスの効果の分析として、多様なアクターが関わる多層的でソフトなガバナンスであるからこそ、問題解決に効果的に取り組めるといふ、生産的な効果に焦点をあてて分析することを目的とした。具体的には、認証システムという私的アクターと、国際組織や地域・国家という公的なアクターとが、どのような

連携・協調関係を模索しているか(例えば「公私パートナーシップ」)に着目した。

### 3. 研究の方法

上記の3つの目的に照らして、研究方法は2段階構成とした。まず、エネルギー分野における、多様なアクターの多層な関係を分析するための理論的枠組みを設定することとした。特に、国際法学の「国際法の断片化」と、国際関係論の「レジーム・コンプレックス」の先行研究における議論を検証し、複雑で分散化した制度間構造を分析する視点を抽出することとした。

次に、実証研究として、バイオエネルギーの「持続可能性基準」の策定に携わる、国際・地域・国内・私的アクターを絞り込み、インタビュー調査を行い、理論的枠組みで抽出した分析の視点に照らして、連携・協調関係を検証することとした。

### 4. 研究成果

(1) まず1年目は、ソフトで多層なガバナンスに関する理論的枠組みを設定するために先行研究をレビューし、近年の理論動向のまとめを行った。国際法の「断片化」の理論と、国際関係論の「レジーム・コンプレックス」の議論の比較を重点的に行った。後者のほうが、前者に比べて、私的アクターが形成するレジームを評価する視点を含めている点において、本研究が対象とするソフトで多層的ガバナンスに調和的であることがわかった。また後者の方が、多層的なレジームが相互作用をすることで、ネガティブな影響ではなく、ガバナンスにとって生産的でポジティブな影響がみられることを強調する点が特徴的であることが明らかとなった。とりわけ、グローバル・ガバナンスにおける「公私パートナーシップ」という分析視角が強調されており、公と私のアクターの連携関係に注目する必要性がわかった。

また、次年度からのインタビュー調査にむけて、対象となる私的アクターについて調査を始めた。その点、ISEALの年会に参加したことで、ふだん接触することのできないアクターと意見交換することができた。

(2) 本研究の2年目は、実証的研究のためのインタビュー調査を行った。「持続可能性指標」が数多く、多層的に存在することから生じる問題として、分断化や混乱、コストの増加等が指摘されていたが、そうした複数の制度を比較し調和させる試みがあることがわかり、そうしたアクターにインタビュー調査を行った。こうした比較・調和化のイニシアティブにおいて、「公私パートナーシップ」が行われていることもわかった。さらに、そのような公私アクターの相互作用は、バイオエネルギーという分野に限られず、幅広く行われており、他の分野への波及効果があることも発見できた。

(3) 最終年度は、成果の公表を重視した。既に2年目に投稿を行っていた英文ジャーナルでの論文が発刊となり、Yoshiko Naiki, “Bioenergy and Trade: Explaining and Assessing the Regime Complex for Sustainable Bioenergy,” *European Journal of International Law*, Vol.27, No.1, pp.129-159 (April, 2016) として公表に至ったことが重要な一つの成果となった。内容としては、持続可能なバイオエネルギーに関するEUを中心とした多層的なガバナンスの展開を扱った。EU以外の国際レベルのガバナンスとの比較分析と、EUのガバナンスが開始されたことによって増加した私的な認証機関の役割に注目する検討を行った。この3層のガバナンスが、どのような相互作用を起こしているかを検証し、とりわけガバナンスの正統性や公正さの点から評価を行った。

また、今後の研究発展のために、バイオエネルギー以外の分野でどのような類似の検証が可能か、という点について考察した。研究として将来的に意義ある視点は、多層的なガバナンスが、先進国だけでなく途上国を巻き込んだ形で形成されているかどうか、という視点で研究できるもので、例えば、EUを中心とした多層的なガバナンスがどのように途上国に影響を与えているか、途上国における私的アクターの役割や「公私パートナーシップ」の在り方についての研究を、バイオエネルギー以外の事例で研究することの可能性について考察した。

(4) 本研究から明らかになった点は次のようにまとめられる。

まず、多層でソフトなガバナンスは、相互作用を起こすことで、生産的なインパクトをグローバル・ガバナンスに与えることができることがわかった。

具体的には、私的アクターの形成するガバナンスの役割が増大しており、とりわけ認証システムは、基準を設定し認証を企業に与えることで持続可能なビジネス活動を推進する鍵となるアクターであることがわかった。そうした認証システムの活動を、公的アクターが支持することで、公私パートナーシップが生まれ、複数のガバナンスが連携した波及効果がみられることがわかった。

同様の効果は、バイオエネルギーという分野に限られず、持続可能性という国家の合意が困難な分野にあっては、多様なセクターに応用可能であることが示唆された。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 4 件)

内記香子「国際通商体制における規範の

多層化 プライベート・スタンダードの拡大とガバナンスのあり方」『国際経済法学会年報』25号、186～209頁(2016年10月)査読無

Yoshiko Naiki “Bioenergy and Trade: Explaining and Assessing the Regime Complex for Sustainable Bioenergy,” *European Journal of International Law*, Vol.27, No.1, pp.129-159 (April, 2016) 査読有

内記香子「国際通商とプライベート・スタンダード WTO・SPS 委員会での議論とWTO 外の対応」『経済産業研究所ディスカッション・ペーパー 15-J-046』1～22頁(2015年7月)査読有

内記香子「国際通商体制と規制・基準の関係 古くて新しい非関税障壁の課題」『論究ジュリスト』第11号、137～142頁(2014年11月)査読無

〔学会発表〕(計 3 件)

Yoshiko Naiki International Studies Association Annual Convention 2016 (Atlanta, US), March 16, 2016, “How Can Orchestration Impact Private Sustainability Governance? - Seeking Harmonization and Credible Sustainability Claims”

内記香子 2015 年度日本国際経済法学会、早稲田大学(東京都新宿区)2015年11月30日、「国際通商制度におけるプライベート・スタンダード - その役割と問題点 - 」

内記香子 2014 年度国際政治学会研究大会・分科会報告、福岡国際会議場(福岡県福岡市)2014年11月14日、「規制・基準の増加が国際貿易体制に与える影響 - 競争とフラグメンテーションを超えて」

〔図書〕(計 0 件)

〔産業財産権〕

出願状況(計 0 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

取得状況(計 0 件)

名称：  
発明者：

権利者：  
種類：  
番号：  
取得年月日：  
国内外の別：

〔その他〕  
ホームページ等 なし

#### 6. 研究組織

##### (1) 研究代表者

内記 香子 (NAIKI, Yoshiko)  
大阪大学・大学院国際公共政策研究科・  
准教授  
研究者番号：90313064

(2) 研究分担者 なし  
( )

研究者番号：

(3) 連携研究者 なし  
( )

研究者番号：

(4) 研究協力者 なし  
( )